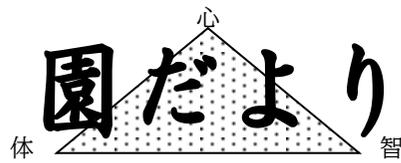


12月



希望が丘保育園 28-0331

生活の合い言葉

【友情】いやなこと 陰口でなく
言っただけが 友情
【会話】話し上手より
聞き上手で 楽しい会話
【言葉】言葉は選んで話そう
きれいに 美しく

雪のたよりも各地から届き、冬の足音が近付いてきました。寒さがいよいよ本格的になりますが、子ども達は毎日元気に活動しています。

先日の子ども報恩講には大勢の皆さまからご来園いただき、子ども達が園で過ごす様子をご覧いただきました。大好きなおじいちゃんおばあちゃんに見守られ、子ども達はとても嬉しそうなお顔が印象的でした。ご家族の皆さまの温かい励ましが、子ども達の育ちの力になることを改めて感じました。ご参観ありがとうございました。

本格的な冬を前に雷や激しい雨、霰(あられ)など、突然の天候の変化に、子ども達は驚いたり、変化を感じ取ったりしています。子ども達の興味や関心もまた、突然変化し、盛り上がることもあります。稲光と雷鳴の仕組みに興味を持ったり、雪と霰の違いを考えたり。反対に、時間を掛けて少しずつ興味や関心を育んでいくこともあります。公園の木の葉の色の変化を感じたり季節の虫を見つけたり、身近な自然にも驚きと発見が満ちています。自然はまさに遊びと育ちの宝庫なのです。年末に向けて大人は忙しくなっていく時期ですが、お子さんと過ごす今の瞬間を大切に、一年を振り返るゆったりした時間を過ごしたいものです。——道を歩きながら、車の車窓から、冬の空や木、山、川などの自然の変化について、親子で気付いたことを言葉にして伝え合ったり、観察したりしてみたいと思います。子ども達の繊細な観察眼と気付きに大人がハッとさせられることもあるかもしれません。

長岡市内でもインフルエンザが流行し始めています。12月も風邪や感染症に気を付けながら、元気に過ごしていきたいと思ひます。



保育目標

“けじめのある生活”

活動や生活習慣を見直し、
どんなことも真剣に取り組む。

保健だより

「子どもは風の子」とはいいですが、寒くなると風邪も心配で、つい子どもに厚着をさせてしまいます。子どもと冬の服装、どう考えたらいいでしょうか？

子どもは大人に比べ体温調節機能が未熟で体に熱がこもりやすく失いやすい状態です。この体温調節機能は気温の変化の刺激を受けることで発達します。しかし厚着をした子どもは気温の変化を直接肌で感じ取ることができず、体温調節機能も育ちにくくなります。厚着をさせすぎないことは子どもの体温調節機能を育てるために必要なことなのです。

また子どもは「汗っかき」です。厚着による発汗で水分が失われ、体が脱水状態になったり、汗が冷え風邪をこじらせたりする原因になることもあります。厚着をさせると服で肌が覆われるため、子どもの発汗や体温の変化に気付きにくくなります。大人より外部環境の影響を受けやすい子どもは、活発に動き始める年齢になるとさらに体温が上がります。

子どもの服は「大人より一枚少なめ」といわれるのはこのためです。体温調節のサポートは大人の大事な役割。厚い服をたくさん重ね着するより、暑さ寒さに対応できるように自分で脱げる服を選んであげてください。

心の目標

忍辱持久

教えを知り、皆で努め励もう。大きな目標もじっくり取り組んで達成できる。

読書の習慣を育てましょう
～選ぶ、借りる、読む楽しみ～

寒くなり、外で遊ぶ機会が少なくなり、室内での遊びが中心となる季節です。冬は読書の習慣を付けるのにぴったりの季節です。

園では毎週金曜日を絵本の貸出日として、各クラスの絵本の棚から自分の好きな絵本を持ち帰ります。また、なかよし組の本棚の本も貸し出してあり、借りたい絵本を持ち帰る子もいます。金曜日夕方の事務室には、なかよし組の絵本を大事そうに抱えてたくさんの子ども達がやってきます。「この本、貸してください！」「きょうはこれ借りたのー！」嬉しそうなお顔にこちらもおもわず笑顔になります。また、小さなクラスの子もお兄さん・お姉さんの姿を見て「これ、くだしい！」とかわいい声で伝えてくれます。毎週のことで子ども達の中に絵本を選ぶこと、借りる楽しみや、それを言葉に伝えることがこんなに広がっていくとは思いませんでした。嬉しい限りです。

これからもいろいろな絵本に出会って楽しんで自分の知識の宝箱を増やしていってもらいたいです。



12月の行事予定

- 8日(金) 誕生会
- 15日(金) 給食試食会/ばら組
- 20日(水) 諸経費口座振替日
- 22日(金) 避難訓練
- 25日(月) クリスマス会
- 28日(木) 保育納め/給食終わり
- 29日(金) 年末申込保育/給食無し
お弁当が必要です



《年末年始の保育》

12月30日(土)～1月3日(水) 年末年始保育休み

※保育園は無となります。緊急の連絡は園長携帯まで。

1月4日(木) 新年保育始め/給食開始



風邪・ウイルスにご注意!!

新型コロナウイルス感染症の流行は落ち着いていますが、寒くなるこれからの季節は、風邪やインフルエンザ、ノロウイルスなどの感染性胃腸炎等も流行する時期です。手洗い・うがいとマスクエチケット、早寝早起きの規則正しい生活で抵抗力を付け、感染を防ぎましょう。

※保育園は集団保育の場です。集団感染を防ぐため以下の事項を守ってください。

- ・熱や下痢、嘔吐、咳等の症状が見られた場合には、無理に登園せず家で安静にし、早めに小児科を受診し、結果を園に連絡してください。
- ・下痢・嘔吐・食欲不振・腹痛等は症状が無くなってから24時間は家で様子を見てください。
- ・集団感染を防ぐためにも、療養解除届または登園許可証明書*(感染性胃腸炎・マイコプラズマ・おたふく・水ぼうそう等)が必要 となります。必ず登園時に提出してください。

※新型コロナ、インフルエンザについては、保護者自身で記入する「療養解除届」を提出してください。

※療養解除届、登園許可証明書は保育園玄関に用意してあります。園のHPからもダウンロードできます。

※家族に感染者がいる場合、園にお知らせください。また感染拡大を防ぐため、家庭保育にご協力ください。

給食試食会/ばら組(15日)

ばら組保護者の皆さまから子ども達と一緒に給食を味わっていただき、給食試食会を行います。子ども達が毎日どんな給食を食べているかどうぞお楽しみに。

クリスマス会(25日)

12月のお楽しみの行事、クリスマス会では、赤い服に白いおひげ、大きなプレゼントの袋を背負ったサンタさんが保育園にもやってきてくれるかもしれませんね。

みんなで歌を歌い、ダンスを踊って、楽しみましょう。



年末年始の保育について

年末年始の保育園の日程は、左の行事予定の通りです。12/29(金)は申込保育となり、通園バス、給食がありません。お弁当が必要です。

年明けに皆さんと元気にお会いできることを楽しみにしています。年末年始をご家族で健康・安全にお過ごしいただき、よいお年をお迎えください。

園からのお願い

冬の交通事故はなぜ起きる？

12月は他の月と比べて交通事故が多い傾向にあります。道路の凍結や積雪など冬ならではの交通事故リスクがあることをお子さんと確認してみましょう。

- ◆日没が早い 暗くなる時間が早くなると運転手から歩行者は見えにくく、歩行者も車までの距離感がわかりにくくなります。
- ◆路面が凍結する 寒い日の朝や夕方は雪が降ってなくとも凍結することがあります。日陰や道路の白線などは凍結すると溶けにくく、転倒しやすいです。車両のスリップ事故に巻き込まれる危険も。
- ◆雪が積もる 雪が積もると道路が滑りやすくなるだけでなく、積もった雪で周囲が見えにくくなったり、道幅が狭くなったりします。また雪は音を吸収するため近付いてくる車の音が聞こえにくくなることもあります。

冬の外出時の注意点

冬に発生しやすい交通事故のリスクを知ったら、以下のような対策をして事故を防ぎましょう。

- 時間に余裕をもって行動する
- 車が見えたときは横断せずに行き過ぎるのを待つ
- 外に出るときは必ずリフレクター(反射材)を身につける…ドライバーから早めに認識されることが重要です
- 寒い日の朝や雪が降った日は、滑りやすい場所に注意する

(参考 セコム「子どもの安全ブログ」)